



二〇二三年楽しかった夏休み

第二上新井学童クラブ

第二上新井学童クラブの夏休みといえ
ば「ひよっこ縁日！」毎年子ども達が楽
しみにしていることも縁日ですが、今年
も夏休みの最終日に無事に開催するこ
が出来ました。

準備期間が一週間と短く、無事に当日
を迎えられるか、指導員は様子を見守り
ながらドキドキしていました。縁日が近
づくにつれ、子ども達も熱心に準備に取
り組み、チームごとに景品を決める際は
盛り上がりがMAXに！

当日は三、四年生が中心となって五つ
のお店（射的、的入れ、ひもくじ、くじ
&型抜き、カールング）を出店しました。
ひよっこ縁日当日は参加者七十五名で



夏休み
最後の
一日を
楽しく
過ごし
ました。
今年
の夏は
猛暑日
が続き
ました
が、幸
いなこ

とに遊び場の校庭は日陰も多
く、夏の終わりが近づくと夕
方には秋風を感じながら外で
遊ぶことが出来ました。

ペー「コマやソングなどの身
体を使った遊びも人気で、一
年生も積極的に参加し、あそ
びを通じて異年齢の繋がりがや
関わりもたくさん増えた夏で
した。

牛沼学童クラブ

牛沼学童クラブの夏休みは
子ども達が「持ってきていい
もの」を話し合って決めるこ
とから始まります。

年度は四年生が中心になり、
話し合いを進めました。ポー
ル、折り紙、シール、水でつ
ぼう、虫あみ、虫かご、虫、
任天堂スイッチ、ぬいぐるみ
：思い思いに持ってきていた
ものを書きだし、その中から
何度かの話し合いを経て、持っ
てきていいものが決定します。
夏休み初日、たくさんの子
がうれしそうに持参したのが



水でつぼう。色々な形の水でつ



ぼうに「こんなに飛びよー！」「
○○○○のまじり貸してー！」
と目を輝かせていました。
暑い毎日、夢中でびしょび
しょになって遊ぶ子どもたち
とっても楽しそう！日に日に
水でつぼうメンバーが増えて
いきました。一方で「濡れた
くないのに…」「貸したのが
返ってこない…」とぼつぼつ
不満の声も出てきました。そ
んな声から話し合いが始まり
ました。「両手をあげたら撃
たないのどう？」「直接借
りて、直接返そう！」など意
見を出し合い、約束を決めま
した。みんなが楽しく、そし
て心地よく過ごすために自分
たちで考える、素敵な夏休み
の一幕でした。

若狭学童クラブ

若狭学童クラブでは子ども達が公園の笹森や学童に来る途中の道で見つけたセミの抜け殻（通称・セミバッチ）を集め、指導員にプレゼントしてくれました。

他にも、夏休み中は暑い日が続いたため、庭先での水遊びや、部屋で過ごす際はスライム作りなどを楽しみました。水遊びではホースから出る水を頭からかぶり、「気持ちいい〜」と嬉しそう。スライム作りでは「ラムを入れたらキレイだよね」ということで、色水以外にも金や赤のラムを

混ぜ入れてキラキラにデコレーション。両手をラムまみれにしながらキラキラ輝くスライムに夢中になっていました。



最初は紙コップに入る量でしたが、だんだん増えていたために紙袋に入れて保管することになったかな？」と集めたセミバッチをみんなで数えてみると、なんと約五百体。「すごい。思った以上にたくさん集まったね」と指導員もびっくり。「ここまで来たら目指せ、千個だね」とセミバッチ

若松学童クラブ

若松学童クラブでは、夏休みイベントの一つとして「わんぱくえんにち」を開催しました！子ども達の希望者と指導員がチームでお店屋さんになり、射的、さかなつり、わなげ、スパーポールすくい等々をワイワイと盛り上げてくれました。

準備は前々から、工作好きな子たちが中心になり割りばし鉄砲や釣り竿を楽しみなが

ら製作してくれていて、中にはまるで職人さんのような真剣な目になっている子もいました。

お客さんとして来店するのは、一、二年生をはじめとする学童のみんな。見慣れないお店がたくさん、おやつでフランクフルトを焼いていたので匂いもいつもと違い、「ほわー」と感動した様子の声が聴こえてきました。



みんな、目をキラキラさせて楽しんでいて素敵でした！
また、初の試みとして「水鉄砲の日」を開催！当日は最高の晴天、子どもたちは外で思いっきり水遊びを楽しんでいました。「夏の思い出をありがとう」と、保護者の方からとても嬉しいお言葉もいただき、開催して良かったと心から思いました。



緑町三丁目学童保育所

緑町中央公園夏祭りに参加しましたー！

八月十九、二十日に緑町中央公園にて、四年ぶりに夏祭りが開催されました。

緑町三丁目学童保育所（よつばクラブ）も、このお祭りに参加しました！

参加にあたり、自治会よりおみこしの制作依頼を受け、町内会の方に土台の段ボールなどを用意していただいて、学童では装飾するものを作っていました。町内会の方と子どもたちで話し合いながら、段ボールを重ねていき、紙粘土で作った

た鳳凰をおみこしの正面に飾って運転席を作ったり、金の折り紙で折った勲章を全面に貼りました。最後に「よつば金ヶ島（よつばきんじま）」と名付けました。お祭り当日は地域の子どもたちが櫓の周りを担いで回ってくれました。

担いだ後のお神輿には、地域のみなさんからの夢や願いがかかれ、お祭り会場に飾られていました。

子どものお店として、「ストラックアウト&フリースロー」

と「手作り小物のお店」を出しました。ストラックアウト&フリースローは、無料ということもあり大人気！たくさんの子どもたちが挑戦してくれました。お店番の子たちも最初は緊張気味でしたが、「ストラックアウトとフリースローどっちをやりますか？」と聞きながら、終わった後は、景品のシールを渡してあげていました。手作り小物の売れ行きもよく、「かわいい！」と手に取ってくれる様子を見て、作った子たちもうれしうでした。



製作
あなごの夢や
願いは
紙粘土で
作りました
よつば
クラブの
皆さん



学童クラブの会は、今年も「市民フェスティバル」に参加します。

「ダンボールめいろ」 10/28(土)29(日) 「ベーゴマ教室&大会」

28日(土)12:30~15:00
29日(日)10:00~14:30
対象:小学生 入場無料

あそびにきてね！！

教室 28日(土)13:00~15:00
大会29日(日)受付開始 12:15~
大会開始 13:00~
ベーゴマ大会は子どものみの参加



リポート 夏の現地リポート

リポーターの前野です。

今回は四月からお世話になってる若松学童クラブの様子をリポートさせていただきます。

笑い溢れる日々

「ワッハッハ」とクラブ全体から爆発的な笑い声。振り返ると子ども達の笑顔満開。ホワンと幸せのお裾分けを買った瞬間です。子ども同士、子どもと指導員、指導員同士等等、毎日笑い声の絶えない若松学童クラブ。まさに笑う門には福来る！若松の素敵な一面です。

猛暑の中だけど

今年の夏休みも「記録的な猛暑」更新により、様々な暑さ対策を行い、

熱中症予防の工夫等もしつつ、子ども達は暑さの中での外遊びを楽しみました。若松学童

クラブの外遊びは十五対三十(遊び時間十五分、休憩時間三十分)のリ

ズムを基本に、子ども達が遊びたい遊びを堪能できるようにしています。十五分という短い時間でも充実して遊べていました。午前中は木陰にな

る鉄棒付近で熱心に一輪車の練習をする子達、校庭の隅々で虫取りをする子達、日陰を探してサッカーのパスやバスケットのゴール練習をする子等々。

特に虫探しは夏の風物詩。バツカナヘビ、トカゲ、セミ等を根気よく探し採取し、その後採取した虫たちをお散歩！と言いつつキャッチ&リリースを繰り返す様子も見られました。夏の終わりには採取した虫たちを元居た場所にリリースします。

「この子強いよね」「この子さあむむんだぜ」等の会話から、虫たちへの愛情も感じさせる子ども達です。(虫たちにとっては受難の夏でしょうが、様々な事を学ばせてくれて感謝です。)

八月中旬以降は台風の影響もあり、天候をにらみつつ外遊び時間を確保している指導員の判断力はさすがです。

エアコンの効いた室内では、段ボール工作を含め様々な工作が展開されています。特に「縁日」を意識して割りばし鉄砲や魚釣り(魚と釣り竿作り)、輪投げ等のグッズ作りに集中して取り組む子ども達。まるで職人さんのようでした。

信頼の基本は愛

「子ども達がやりたい事を応援する」ことって言葉では簡単なようですが、実践するには様々な段取りや

何よりも指導員側の覚悟が必要です。子ども達の要求を満たせるような環境づくりをしている指導員の「チームワーク」は何よりも大事なポイントです。様々なタイミングで「ホウレンソウ(報告、連絡、相談)」をする姿が見られました。パート職員からも子どもの状況の「ホウレンソウ」があり、大人のチームワークの良さを実感しました。子ども達が安心して学童クラブにいられるのは大人への揺るぎない信頼があるからでしょう。

基本は愛ですね。すべてのクラブから今日も笑顔が溢れ聞こえてくることを願います。



編集後記

「それ持って行くの?」「ニメートルくらいあるワニの浮きを持って行くのだという。」「学童のプールはね、遊ぶだけなんだよ。」「夏休みに何回か学校のプールを借りて遊べる日があったのだ。それ以外の日、娘はお弁当を入れた保冷バックと水筒だけを肩にかけて、毎日学童に行った。」

娘に学童の事とか夏休みの事を尋ねてみたが、「二十年も前の事なので、あまり覚えてない」という。「違う学年の子と遊んだのが楽しかった。」「一輪車とか鬼ごっことかやったなあ。」「とにかく遊ぶ所だったのだ。」

それで良いのだ。小学生の時、「何も心配せずに毎日々々一日中遊ぶ。それが出来るならそれで良いのだ。それがどういいう意味とか成長にどうとか社会性がどうとか、そんな事は後で自分で考えれば良いのだ。小学生はただ気の向くままに遊べば良いのだ。」

私に関心のあることは日本の少子化だ。少子化が進むと人口は減少し、それは労働力の減少になり、そして購買人口の減少になり、税収も減るので経済は破綻し、インフラの整備が立ち行かなくなった地方都市は消滅する。これはそう遠くない未来の話だ。

もう残りの字数がないので、詳しくは語れないが、少子化対策、もう後がありません。

(保護者OBBN、M)

がらどろマンガ



今日は買い物おやつだよ!



＝オアシス＝

ほくも買おう!



みんな大好き

ガリガリ君 あたし付き

…帰り道…



はたしてガリガリ君はあたるのか!?



こんなにお願いしてるのに〜